

京を用いた多目的設計探査活用事例



准教授 大山 聖

宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所

2016

7 / 11 16:30 – 17:30

北陸先端科学技術大学院大学
東京サテライト（品川）

講演者はHPCI戦略プログラム分野4「次世代ものづくり」において、多目的設計探査による設計手法の革新に関する研究開発を進めた。多目的設計探査は多目的設計最適化により得られた非劣解データベースを統計的手法や可視化により分析することで、設計に役立つ知見を抽出するフレームワークである。

本講演では、宇宙航空研究開発機構・マツダ・日本自動車工業会・富士通で実施した車両構造設計最適化を中心にHPCI戦略プログラムで得られた成果を紹介する。

世話人: 木野日織、寺倉清之

連絡先: 木野日織 内線4770, Kino.hiori@nims.go.jp

拠点運営室 内線6609, mii-i@ml.nims.go.jp